

「一票の一步」

都城市立夏尾中学校 3年 黒^{くろ}川^{かわ} 花^{はな}

「一票の一步」テーマをこう掲げました。明るい社会を、希望ある未来を創っていくためには、選挙における一票が大切であると思っていますからです。15歳である私にはもちろん選挙権はありません。ただ、選挙における一票がどれだけ重要な意味を持つのかを私たちは考えるべきだと思います。

残念ながら、今の日本の10代の日常では、政治や社会の変革について、真剣に語り合ったり、考えを深め合ったりする機会はほとんどありません。しかも、そのような話をする「変わり者」や、決して良い意味ではない「真面目…」という目でみられがちです。

私はドイツに住んでいた経験があります。ドイツ人の間では、政治や経済、宗教などの会話でそのような空気はなく、むしろ関心が強く、小学生だった私と同年代の子たちも、そのような話題について自分の考えをきちんと持っていた記憶があります。政治に関心がない若者の多い日本とは違っていました。今の日本は「税金が高い」とぼやきはするけれど、何の行動や意見も持たずに呑気に過ごしている。それも、どうなのでしょう。

そこで選挙が出てくるとしています。若者の投票率が低いと言われる日本ですが、選挙にも行かずに、今の社会に文句ばかり言っても無駄です。選挙に行き、きちんとした形で自己主張すべきです。確かに一人の投票で国が変わるわけではありません。しかし、一人分の何かが動くと思うのです。10人なら10人分、100人なら100人分動くのです。もし18歳の有権者109万人が同じことを願い全員投票したならば、間違いなく社会は国は変わると思うのです。よりよい社会を創る大きな一歩となるのです。

日本は素晴らしい国です。世界に誇る技術もあります。おもてなしをはじめ、日本人だからこそ心もあります。しかし、私の耳に入ってくる日本の政治や経済の情報は、残念な事例が多いです。先ほどの税金についても何に使っているのか、私たち国民にはわかりづらいです。ドイツの税金も確かに高いです。でもドイツは大学卒業まで無料です。病院も基本的な受診や治療は無料です。詳しいことはわからないのですが、日本のように不透明な部分は多くないと感じます。

私は未来を担う子どもたちにこそ、貴重な税金を多く使うべきだと思います。子どもたちの可能性を狭めることは、国そのものの未来を狭め、厳しいものとしているのと同じです。私が知っているだけでも、ドイツは国を挙げて子どもを大切にしています。子どもに国がお金をかけています。ベビーカー補助金等もあり、街を歩いていてもベビーカーをたくさん目にします。妊婦さんへ配慮した施設も多くあります。全て税金です。こうした取組が皆で子どもをしっかりと育てようという意識の高まりにも繋がっているのだと思います。

よりよい未来を創るために、大切なのは今です。政治や社会に無関心な今の日本を変えるべきです。今を積み重ねてできたのが過去です。そして、今を積み重ねていくのが未来です。今、変える、動くことが重要なのです。

ドイツでの体験や税金のあり方を考えてきた中で、私が最も伝えたいことは、選挙・投票への若い世代の意識変革です。私たち若い世代も社会や政治経済を真正面から見つめ、豊かで安心なよりよい社会を創るために、自分の意見をしっかりと持ち、自身の貴重な一票を大きな一歩にしていくという決意を持たなければなりません。一票は大きな一歩につながるはずなのです。